

あつ

ガッ

不注意で
ものを壊したとき、
なんとも言えない
後悔とやるせなさが
ありますよね

それが
大切なモノであれば
なおさら！

そんな経験の
あるあなたに
知ってほしい

高飾の技術が
ここに
あります

モノを守るエキスパート
「大塚式縫製技術」

株式会社大塚製作所

作:unaki

大塚浩

大塚製作所の社長

はやてくん
大塚さん家の家族

それって
どんな技術
なの？

一言で
いうと

内容物を
守り抜く
タフな縫製

大塚製作所は元々
キャリングケースの
製造会社として創業

以来顧客のニーズに応じて
さまざまなケースを
作り続けて60年になる

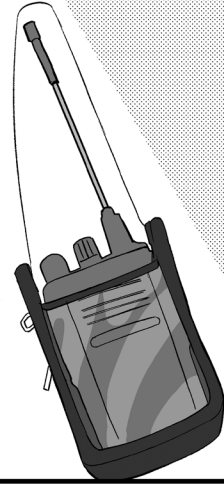
製品の一例を
紹介すると

つくり続けて！
60
年
トランシーバー用
ケース



衝撃や水濡れで
内容物が
壊れないように
耐衝撃・防水加工

シート素材は
高周波ウェルダー
という機械で
溶着※する



つくり続けて！
20
年

宅配業者向け
小型プリンターケース

※樹脂や非鉄金属をくっつける技術のこと

他にも
駅改札の
ドアカバーや

某有名
テーマパークで
使われる
コントローラーの
防水カバーも
手がけているよ

身近な
ものも
作って
るんだね

身近と
いえばね、

自衛隊や
警察・消防の装備品も
作っているよ

無線機用
ハーネス

ホルスター

これらは
いわば
命を預ける
装備品

絶対に
壊れないことが
要求されるんだ

大塚鞆

Ohtsuka Kaban



最近では
自社ブランドを
立ち上げて
バッグを
販売しているよ

しっかりした
縫製による
安心感を
抱いてもらえたら
嬉しいね

大塚式縫製技術を
惜しみなく
注ぎ込んだ
『大塚鞆』

布地も革も
高品質な素材にこだわった
流行に左右されない
クラシカルなデザインで
レビューでも好評な一品

↓レビューの一部

- ♡上品で大人かわいい
- ♡日本製のしっかり感
- ♡とにかく品質がいい



その秘密は
大きく3つあって
ですね、
はやくね

でもうちは
どうして
こういう製品が
作れるの？



その1 企画時

職人が企画から
参画し、製品の
構造的に弱い箇所を
突き止める

経験上ここは
破れやすいから
補強しよう

あと
落下に
備えて

完成した
ものは

弱点を重点的に
補強する
デザインが
採用されている



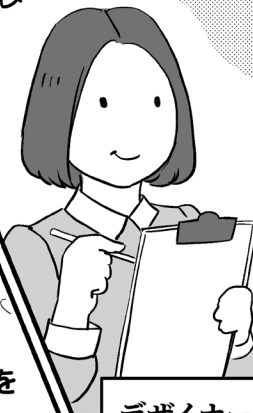
縁取りのテープ

落下の
衝撃を吸収

摩擦しやすい
挿入部分の四隅を
二重補強

耐久性アップ

フムフム



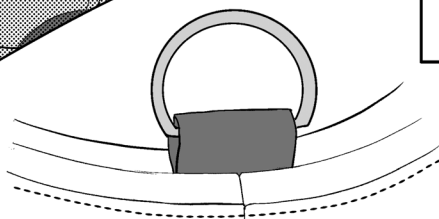
デザイナー

職人

その2 製作時

企画を可能にするのが
固い素材同士でも
しっかりと
縫い合わせる技術

バッグの
金具部分の
縫い合わせは…



▶ 布：帆布×4枚
革：本牛革×2枚

使用する帆布は
自立できるほどの厚み

計6枚!!

針も細すぎると
生地にかけて
折れてしまい
逆に太すぎると
生地に穴が空いて
堅牢性が損なわれて
しまうため

経験による
見極めが必要

この生地なら



今は需要が
どんどん
増えているけど
昔、
縫製の需要が
減った時期に
他社は職人を
辞めさせざるを
得ない程に
追い込まれて…

でも
うちは職人さんに
別事業の補助に
入ってもらった
なんとかなった

その判断があったから
今の技術があるんだ



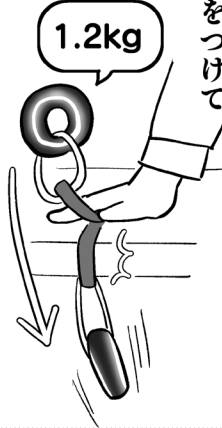
自動ではなく
足踏み式のミシンで
速度を調整
しているため

製品二点二点に
対して繊細な
作業が可能

そのうち検査時
(落下試験の例)



①紐におもりをつけて
落下させる



1.2kg

②ストラップを
対象の筐体に装着し



最大の高さから
落下させる

耐久性の根拠として
常に試験を
クリアできる品質
となっている

念入りに
やって
いるんだね

これらのことを
やっているのと
提案力もついてね

装備品である
GPSケースの
相談が
来たときは



まずはお客様が
あり合わせで
買ったケースの
不満や要望を
聞き取って

「それなら
こうしたら
どうですか？」
と、その場で
提案して

話しながら
30分くらいで
試作品が
完成したよ



要領王

ひらめき

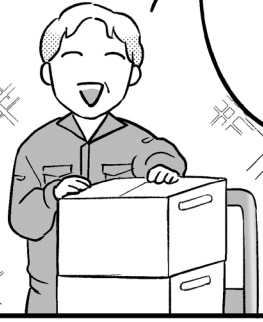
熟練の
ノウハウ

30分
くらいで



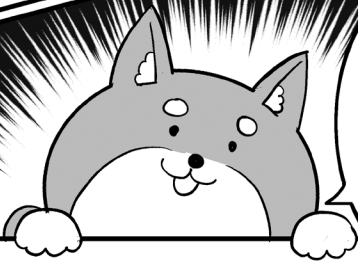
1ヶ月後には
量産対応したよ

ありがとう



ちょっと
待って

スピード感が
すごいよ



いただいたお客様の声



お客様に満足していただくと

こちらも嬉しくなるよね

品質も早さも満足なので他社への浮気は考えられません

現物を見せて相談すればゼロからでも提案してくれる助かる

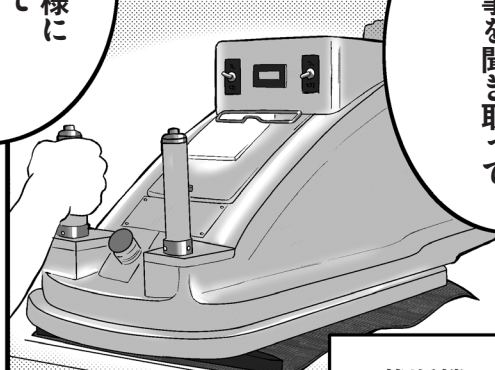
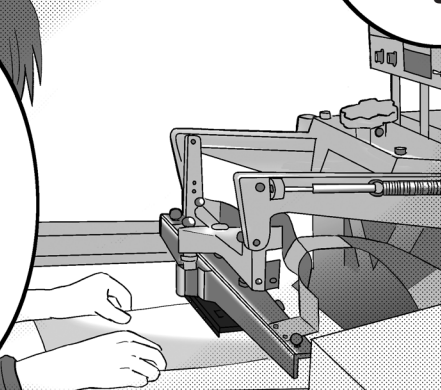


高周波ウェルダ―でシート素材を溶着する様子

お客様にとって最適な製品を作り上げています

このように日々相談事を聞き取って

これから縫製事業を大切にして技術を磨いていこう



裁断機で革の裁断をする様子

「堅牢」で「内容物を守り抜く」

製品づくりに自信があります

困ったら気軽に相談してね



株式会社 大塚製作所

